

2024年

行方市立麻生小学校

特色ある教育活動



専門性を生かした 授業の実践 1

英語スペシャリストとALTによる外国語の授業

オーストラリアの小学校との遠隔交流授業



外国語の学習は、英語スペシャリスト教員とALTの二人体制で行い、英語での会話を多く取り入れた授業を行っています。オーストラリアの小学校との遠隔交流授業も定期的に行い、児童が英語で表現することを楽しめる言語活動を実施しています。本年度はオーストラリアの小学生が学校に来校し、直接交流することも予定されています。

専門性を生かした 授業の実践 2

専科教諭による理科の授業



小グループでの実験、体験による実感を伴う理解



4年生以上の理科の学習は、理科の専科教諭が行っています。専門性を生かした実験や授業、指導を行い、児童の理科に対する興味関心、探究する力を高めています。

実験の予想や仮説を発想する力、問題解決の方法を考える力、結果を分析し解釈する力、考察する力の育成を目指していきます。

児童主体の学びを 実現する授業研究

児童が主体的に学び方を選択し、協働的に学び合い、課題解決に向かう授業研究

個別学習、協働的な学習における
ICTの効果的な活用



算数科の授業研究を軸に、児童主体の学びを実現する授業づくりを研究し、学力向上を目指していきます。

- ICTの効果的な活用
- 習熟度、コース別学習、チームティーチング等、多様な学びの推進
- 評価の在り方の研究



郷土と社会を切り拓く 課題解決型学習プログラム

学年のテーマに沿った
課題解決学習



同時双方向型
Web会議システムを活用した遠隔授業

高度な専門性をもつ指導者からの
直接指導や助言
プログラミングによるロボット
操作体験・VR体験



総合的な学習の時間において、本年度も、6年生が静岡大学の先生から直接ご指導いただけることになりました。課題解決への意欲と探究心を高め、プログラミング的思考力も育む充実した時間としたいと考えています。

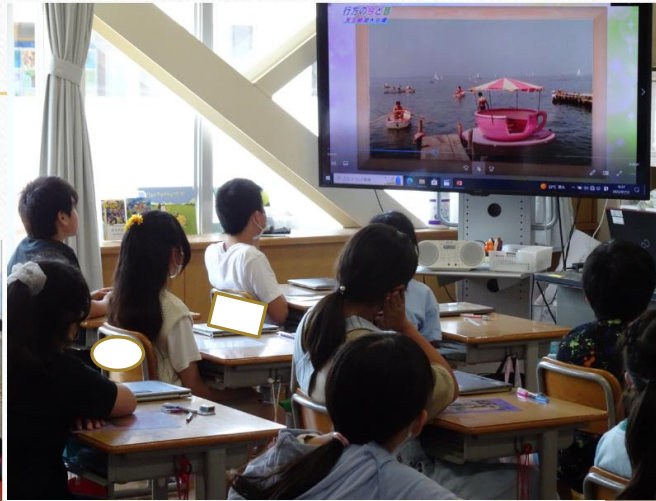
市の未来をよりよくするための提案、提言を考えていくことを通して、一人一人が社会の一員としての自己の生き方を考えていきます。

SDG s を意識した 環境教育、郷土愛を育む教育

地域と連携した授業の実践



児童の意識を高める校内掲示



SDG s を意識した委員会・ボランティア活動

